

小見山隆行教授退職記念号に寄せて

小見山隆行先生は、2018年3月本学商学部を退職されました。ここに長年のご功績を称えるとともに、記念号を発刊し、先生に捧げたいと思います。

小見山先生は、1967年3月南山大学経済学部を卒業後、同年4月南山大学大学院経済学研究科修士課程に入学され、69年3月同課程を修了されました。同年4月愛知学院大学法学研究科修士課程に入学され、71年3月同課程を修了、高等学校教員専修免許：商業・社会（公民・地歴）を取得され、同年4月に愛知県立祖父江（現杏和）高等学校に赴任されました。その後30余年に亘り商業教育に携われ、97年4月愛知県立岡崎商業高等学校校長、2000年4月からは愛知県立愛知商業高等学校校長、併せて、愛知県商業教育振興会長に就かれました。

商学部では、高等学校商業科の教員を志望する学生の教育充実を図るため、2005年4月、小見山先生を専任講師としてお招きし、会計分野のご担当もお願いしました。ご着任早々、教職課程委員、キャリア委員（2008年4月より12年3月までキャリア委員長）もお引き受けいただき、13年にわたり、教育活動ならびに学生指導に尽力されました。とりわけ教職課程委員としての熱心なご指導により、数多くの教員を送り出されました。

2007年7月に准教授、14年10月に教授へと昇任され、この間、商業教育の変遷や商業道德、キャリア教育をテーマとして研究に励まれ、日本商業教育学会、日本産業科学学会等で報告されました。単なる就職対策に留まらないキャリア教育の充実は、これからの大学教育の重要課題の一つであり、小見山先生は前職でのご経験を活かしながら、本学での教育活動においてもご自身の研究成果をいかに発揮されました。

2014年、商学部は名古屋城を眺めるキャンパスに活動の拠点を移しました。小見山先生にもご一緒していただき、学生共々われわれ教員一同もこの間多くのご指導を賜りました。まだまだお力を発揮していただけるとの思いは私だけではなく、ご退職が残念でなりません。

先生、長い間ありがとうございました。どうぞお身体を大切にされて、今後ともわれわれをお見守りくだされば幸いです。

2019年3月 吉日

愛知学院大学商学会 会長 城 隆